

穴の先にある未来へ

金剛ダイス

工業

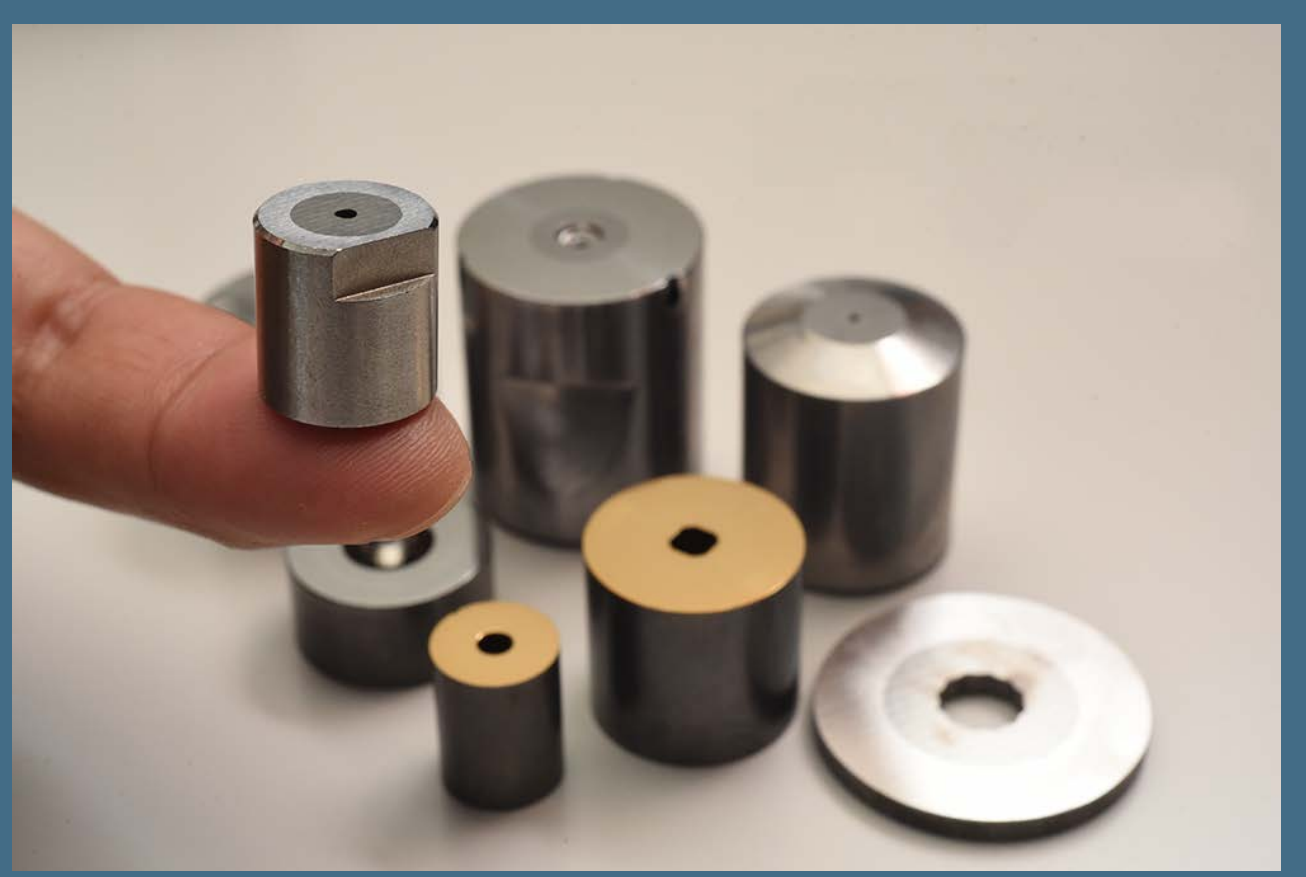


# 和歌山県の イチオシ企業

# 金剛ダイス工業

## 何をしてる会社なの？

ネジ、小型部品の作成を行っている会社。創業1960年から培ってきた金型製造技術、主に微細加工技術と日々進歩していくあらゆる分野の技術を融合し、工具の設計から製造まで一貫した製造工程の管理を行っている。



## 社長さんの一言

お客様のお困りごとを解決するのが私達の役割。お客さんが欲しいものは金型ではなく部品。使えなければ、それはただの金属片に過ぎない。味噌汁も、わかめやお揚げなどの具や味噌など、人によって好きなものが違うように、金型も作るものによってほしい部品が変わってくる。それを最大限に聞き出し、お客様の求めているものを作る。というふうにウイットに富んだ話を社長さんにしていただいた。



お客様の求めているものを、作る。 — 金剛ダイス工業 広尾社長のことば

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## SDGSの取り組み

一つの針金を膨らましそれを整形するだけなので排出されるゴミを最小限に留めることができ、環境にも配慮しているそう。

# ここがすごい！ 金剛ダイス工業

## 1,測定設備にお金をかけている

高いものでは2400万円近くお金をかけている。

なぜなら測定技術を大切にしているから。

どれほどいいものが作れようかと確認できなければ正確とは言えない。測ってみて初めて良いのかが分かるとおっしゃっていた。



## 2,丁寧な作業

多いときで一日約50個の部品を作っている。ダイスには複雑な形のもの、細かなものも多く、研磨などを手作業で行っている。数は少ないが、その分一つ一つの製品に真摯に向き合っている証とも言える。最小だと0,5ミリ(シャープペンシルの芯と同じ細さ)の金型を作っている。さらに細かい金型を作ることもできるが、穴を真ん中真っ直ぐ開けるのが、難しくなってくるため0,5ミリ以下の製品は作っていないそうだ。

## 3, 期限を守る誠実さ

工場内にはたくさんのカレンダーがあったため、それについて質問してみると「絶対に期限を守るため」と納期を守るための努力が垣間見えた。

### ここだけのこそこそ話

.....

最も売れるのは季節モノらしいんだけど最近はいつでもそういうものが買われるようになってしまったから運営を安定させられるように企業努力を重ねているらしい....

**結論!**

# 金剛ダイス工業は日々 努力を重ね続ける企業だった!